



慢性腎不全の方が腎機能低下をきたし、透析をしなければならない時期がくると**療法選択**をすることになります。一般的には**血液透析**か**腹膜透析**の選択になりますが他には**腎移植**という選択肢、そして、最近は**透析をしない**という選択肢があります。今回は後者2点の説明をします。



血液透析



腹膜透析



腎移植



透析非導入(透析をしない)

腎移植

腎臓は腰辺りの背中側に2個あり、普通1つでも十分機能を果たします。そのため、健康な方(ドナー)の片方の腎臓を摘出し、腎不全患者さん(レシピエント)の腹部に埋め込みます。ただし、図1のように親族に限ります。また、血液型は違って移植前に血漿交換や免疫抑制剤投与で移植出来るようになり、夫婦間移植も増えています。

移植を受けるには双方とも全身の検査をし、必要なら治療(血圧や血糖コントロールなど)を受け、意思確認のための心療内科受診もあります。検査の費用や移植に関連する手術費用はドナーの分もレシピエントの医療費になるため、個室代や食事代以外はほとんど補助が受けられます。

ドナーは腎臓が1つになるため、これからも健康管理に気をつけていただかなければなりません。レシピエントはいただいた腎臓を大切にするため、決して内服を忘れず、感染予防、減塩、肥満防止、血圧・体重測定をして、自己管理につとめることが必要となります。

また、透析を始めてからでも腎移植はできます。その時は医師、看護師に相談ください。献腎移植登録もお勧めします。

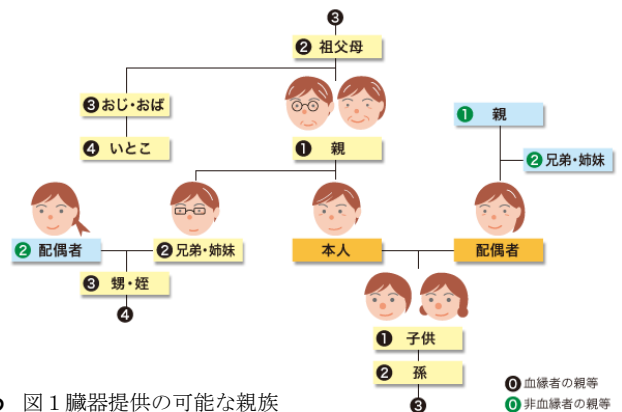


図1 臓器提供の可能な親族
日本移植学会(平成15年10月27日改定) 倫理指針より

移植のことは日本臓器移植ネットワークのホームページを見てね。



透析非導入

透析をしないという選択肢は全ての方が対象ではありません。

2014年日本透析医学会から『維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言』が発表されましたが高齢で認知症やがん、難治性の疾患などを持ち、余命が限られている方や合併症があり、体外循環(透析)することで生命の危険性が高まる場合に限りません。ですから、単に透析をしたくないという理由では非導入を選択していただくことはできません。しかし、今後、自分らしい生き方、自分の望む最期を選択する時代がきます。その時に

自分の意志が伝えられ、希望がかなえられるよう、今から家族や仲間と生や死について語れるといいですね。

文責 透析看護認定看護師 井本千秋



毎年3月の第2木曜日は世界腎臓デー!!
今年3月12日です。
今年も世界腎臓デーイベント開催!!
3月8日(日): きてか〜な(近江八幡市)
お子様も楽しめる企画も提案中です。